

平成24年度 第14回 市民と市長の対話集会 市長と語ろう！ほっとミーティング

開催結果報告書

- 1 開催日時 平成25年（2013年）2月16日（土）
午後1時30分から午後3時30分まで
- 2 開催場所 金田公民館 ホール
- 3 テーマ 金田地区のまちづくり
- 4 出席者 参加者18名 傍聴者10名



金田公民館での集会の様子

5 市長あいさつ

皆様、こんにちは。今日は土曜日の大変お忙しい中、対話集会にお集まりいただき誠にありがとうございます。

政権が代わって景気の浮揚感を感じられそうですが、まだ地方自治体に影響が及ぶには時間がかかりそうです。そんな中、昨年、平塚市は市制80周年を迎えました。これからも、市民の皆様が平塚市に住み続けたいと思っただけのまちづくりを進めていきたいと考えています。

東日本大震災を受け、海に面している平塚市には津波の脅威もあります。昨年度は、防災対策をテーマに対話集会を開催させていただきました。御参加いただいた市民の皆様からは、大変貴重な御意見をいただきました。

今年度は平塚市の各地域に伺わせていただき、地域のまちづくりをテーマに対話集会を開催させていただいています。地域の良いものや課題を直接伺い、市政に反映できるものは参考にさせていただきたいと考えます。私は公民館主事も勤めました。平塚市の地域には多くの文化や歴史があり、それを支える豊富な人材がいます。公民館主事の頃から、豊富な地域資源を生かしたまちづくりは、地域の集合体である平塚市の発展につながると考えてきました。地域の皆様が地域の課題を捉えていただき、行政と一緒に解決する仕組みができれば、本当にありがたいことです。

昨年の4月から地域に伺いはじめ、この金田地区での開催が14回目の対話集会です。日頃、それぞれの立場で、平塚市や金田地区のまちづくりに御尽力いただいていることに、この場をお借りして御礼申し上げます。今年も金田地区の新年会に参加させていただき、皆様の結束力を感じたところです。今日は色々な御意見をいただき、お答えさせていただきます。いただいた御意見や御質問に対して、この場で細かいお答えができない場合は、担当が持ち帰って確認し、改めてお答えさせていただきます。どうぞ、今日はよろしく願いいたします。

6 主な対話集会の内容

① 防災対策について

【参加者】

最近、ゲリラ豪雨による浸水被害が頻繁に起こります。先日、平塚市内水ハザードマップが発表されました。全国的にも珍しく、画期的な素晴らしいものです。ハザードマップによれば、金田地区の長瀬の地域は、市内でも危険な地域でした。原因は、ゲリラ豪雨による水量の増加によって鈴川の水位が上がり、雨水を排水しきれないことにあります。雨水の排水能力を高める対策が必要です。

また、川が近い金田地区には水への恐怖があり、地域には水防団がいます。昭和53年の金目川氾濫時には、杭を打って土のうを積み、川の様子を3日間監視した記憶もあります。

【市長】

お褒めいただき、ありがとうございます。平塚市内水ハザードマップは土木部の下水道整備課にて作成しました。最近、時間50ミリメートルの大雨が頻繁に降ります。昨年はゲリラ豪雨により、金目川の堤防が崩れてしまいました。内水ハザードマップは、平塚市内を1キロメートル四方に分け、時間50ミリメートル程度の大雨を想定しました。下水道の機能や川の排水能力を考え、浸水が予想される区域や浸水の深さなどをお示ししました。大雨が降った時の対応のために、この内水ハザードマップを活用していただきたいと考えます。

地域の川を見守っていただいている水防団の皆様の活動を、本当にありがたく思っています。昨年、金目川の堤防が決壊した時も、水防団には消防分団や警察、市の消防とともに活躍していただきました。しかし、市民である水防団の皆様を危険にさらすことはできません。昔と違い、今は土のうを積んだりすることはお願いしていません。また、現在、水防団と消防分団の機能の統一を検討しています。検討の中で、今後は消防や土木部、警察が対応するまでの情報提供などをお願いすることを考えています。

【参加者】

東雲橋付近では、金目川の改修工事が行われていますが、金目川の川底はかなり浅くなっています。下流の川底が浅いことは、水量が増えた時の金目川の氾濫につながり、大変危険です。

【市長】

金目川の河床は、上流から運ばれる石や砂利、砂によって高くなっています。特に、昔から金目川は天井川と呼ばれ、氾濫しやすい川です。河床が土手の外の土地より高くなっているところもあって大変危険です。大雨などにより、川が水量を抱えきれなくなることが大きな課題です。河川の管理は県が行っているため、毎年、金目川の改善に関わる要望を続けています。県は下流から河床を掘っていく計画ですが、今後も地域の皆様の安心安全のため、県への要望を強めていきたいと考えます。

【参加者】

鈴川の整備に関わっています。土手の草刈りをしていて気付いたのですが、長持ポンプ場の付近には放水口が2つあります。新しいものが造られた後、古いものが撤去されていません。この古い放水口への対応はどのようになっていますか。

【市長】

可能なら、夏になって雨量が増える前に対応したいことです。場所は土木部の担当課にて分かりますので、対応を行う担当がどこかということと、今後の対応を確認して回答させていただきます。

担当課回答（集会後、次のとおり担当課に確認しました。）

長持ポンプ場付近にある古い放水口については、昭和51年に現在の放水口を設置した際、鈴川の整備工事に合わせて撤去する事にしたものです。

現状での撤去には、上部の市道長持1号線や築堤を含めた大規模な工事になるため、神奈川県による河川改修工事に合わせて撤去する考えに変わりはありません。なお、古い放水口の函渠内は閉鎖されており、河川水位が上がっても支障はありませんが、今後、放水口に入れないように安全対策を行ってまいります。

（事務担当は土木補修課排水施設維持管理担当）

【参加者】

民生委員をしています。災害時の要援護者支援のために、個人情報保護の緩和を希望します。今は、自ら情報を発信している方の情報のみを把握しています。しかし、私が把握しているのは、担当する地域に住む障がいのある方1名だけです。地域には高齢者の方や外国籍の方など、支援を必要とする方が他にもいると思います。民生委員として、災害時にはできるだけ多くの方を援助したいと思っています。しかし、情報がなければ、助けることもできません。

【市長】

災害時の要援護者支援に関わる個人情報保護については、これまでのほっとミーティングでも必ず御指摘をいただきました。福祉と防災の関係課では、個人情報提供の方法を研究しています。横浜市では、要援護者本人が申請を行わなくても、市からの通知に対して本人が拒否の意思表示をしない限り、平常時から地域に情報を提供することができる条例をつくらうとしています。これまで、平塚市は要援護者の方からの情報発信をお願いしてきましたが、御意見のとおり、対策は不十分です。災害時に要援護者の方を支援するために、障がいのある方や独居高齢者の方、高齢世帯、外国籍の方の情報を提供できるよう、他市町の動きにも注視しながら考えていきます。

また、このこともほっとミーティングから生まれたことですが、平成25年度の予算で、高齢者の方の安否確認を充実させます。ほっとミーティング参加者の方から、近所の独居高齢者の方が亡くなって数日後に発見されたとお話がありました。高齢化社会が進む中、行政による安否確認のシステムが必要であるとの御意見でした。緊急通報システムはこれまでもありましたが、システムの充実を計画しています。御登録いただく方からの緊急通報はオペレーターを通じて行政に連絡が入り、消防などが対応する仕組みです。他には、認知症で徘徊してしまう人の所在地が発信されるもの、元気な高齢者の方が使用する歩数計に数字が表示されなければ、緊急通報が発信されるものもあります。約3,000万円の予算を用意し、高齢者の方の安否確認のための体制づくりを進めていきます。いつも御苦勞をおかけして申し訳ありませんが、民生委員の皆様や地域の皆様と一体となり、高齢者の方の見守りを行っていきたいと考えますので、よろしくお願いたします。

② 安全について

【参加者】

金田小学校や金旭中学校への通学路である水神橋は道幅が狭くて危険です。自治会は要望を続けていますが、毎年、子ども会育成会やPTAの会合では、水神橋の危険が取り上げられます。ここで、拡幅に関わる調査を行っていただけるようなので、少しずつ進むのではないかと期待しています。少子化の時代、子どもの安全対策はとても大切です。

【市長】

笹子トンネルの天井落盤事故がありました。平塚市のトンネルは一つだけですが、すぐに点検作業を行いました。唯一のトンネルである日向岡トンネルの点検は、来年度も実施する予定です。また、来年度は平塚市が抱える道路や橋、建物などの点検も実施し、改修工事の計画を練り直す予定です。計画の中で、水神橋は自治会からのお声も上がっていることですので、適切な順位付けを行い、拡幅も含めた長寿命化への計画を立てていきます。

【参加者】

金田地区には街灯が少ない地域があります。また、節電のためか、点灯していないところもあります。防犯のためにも、街灯設備の充実を図ってほしいです。特に、長持にあるしまむらストア付近の道路は、街灯が少なく感じます。

【市長】

街灯には、市や自治会が管理する防犯街路灯や道路照明灯と商店街が管理する商店灯があります。行政が管理するものについては、地域の総意として、自治会を通じて御要望いただければありがたいと思います。自治会が管理するものに対する補助もありますので、設置の際には御相談ください。自治会や地域の皆様で、計画的な要望や設置を御検討くださるようお願いいたします。

【参加者】

あさつゆ広場の周りの道路は狭くて危険なところがあります。多くの方が車で来るようになった場所なので、道路を拡幅して安全を確保してほしいです。

【市長】

現在、農業振興と海産物も含めた地場産物など、平塚の良いものを売り出して魅力を発信しようとして取り組んでいます。あさつゆ広場も、かなりの売り上げを上げるようになりました。金田地区の農家の方に御協力いただき、いちごの収穫体験農園もあります。自動車が非常に多く、道路を広げた方が良好との御意見は伺っていますので、今後の課題として取り上げていきたいと考えます。

③ 施設について

【参加者】

寺田縄の旧食肉センター跡地に、寺田縄えのしろ公園が開設して約1年間が経ちました。公園の西側の土地は売却予定地とのことですが、他に土地の活用方法はありますか。今、高齢化社会に伴う介護難民などの課題もあります。例えば、介護施設建設のために、土地を保有しておくことも考えられます。

また、長持にある市営住宅跡地について、今後の活用方法は決まっていますか。あの場所には、高齢者のための集会所や散歩の途中に立ち寄れる便所などの施設ができればありがたいです。

【市長】

現在、行財政運営の効率化を図っています。先日、平成25年度の予算編成を行いました。限られた予算の中、重点を絞って行政サービスの予算をかけることを考えました。このような財政状況の中、市の保有財産については原則売却する方針です。しかし、今日御意見をいただきましたので、この土地の活用の方針を確認して回答させていただきます。方針が決まっていなければ、地域の皆様のために使う方法も考えていきたいと思えます。

担当課回答（集会后、次のとおり担当課に確認しました。）

旧食肉センター跡地（寺田縄字会下後1058番1外2筆）については、本市が土地の取得・処分・利活用等を協議する場である「平塚市土地調整会議」（平成22年11月開催）において、売却することが決定しました。その後、庁内で検討を行って一般競争入札による売却をすることとなり、現在、売却のための準備をしています。

（事務担当は財産管理課財産管理担当）

本市は、平塚市高齢者福祉計画（介護保険事業計画[第5期]）に「平成27年3月までに217床を増設する。」という目標を定め、特別養護老人ホームの新設を進めています。平成23年度と平成24年度に公募を行ったところ、複数の事業者から応募があり、既存施設の増築を含めて、217床の目標を達成できる見込みとなりました。このまま建設計画が進むと、平成25年度と平成26年度は、新たな施設の募集は行わないこととなります。同様に、公募を行った地域密着型の介護保険施設（認知症対応型グループホームなど）も、整備計画値の達成に向けて着実に事業が進行しているため、本市が所有する土地に導入する介護保険施設は、現時点で該当するものはありません。

（事務担当は高齢福祉課高齢福祉担当）

長持にある市営住宅用地については、現在居住している市営住宅が一棟残っていますので、行政財産として本市建築住宅課が管理しています。今後の活用については、この居住世帯が住宅を返還した後に住宅を解体し、普通財産として所管部署に引き継いだ後に決定していく予定です。

(事務担当は建築住宅課住宅管理担当)

【参加者】

先日、秦野市の震生湖に行きました。近くにある便所は非常にきれいに管理されていました。金田地区の公園の便所の中には、便器が壊れっぱなしのものや、全く清掃されていないところもあります。公園管理の徹底をお願いします。

【市長】

市の公園は、みどり公園・水辺課で管理しています。公園の清掃についても、業者への委託によって定期的に行っています。破損などについては、できるだけ早く対応させていただきますので、担当課まで御連絡くださるようお願いいたします。

大きな公園では、地域の公園愛護会に管理などをお願いしているところが多くあります。公園を愛していただけの地域の皆様に、公園の面倒をみていただき、市が管理のための補助をお出しする仕組みです。金田地区においても、地域の皆様に御協力いただき、公園の管理に取り組んでいただくことができれば、大変ありがたく思います。

④ 地域の活動について

【参加者】

地域のまちづくりにおいて、自治会の役割は重要です。しかし、自治会の役員も高齢化が目立ちます。役員を担ってくれる新しい人を育てることが必要です。若い方や女性の方にも、積極的に自治会の活動に参加してほしいと思います。また、地域には特技を持った人が多くいます。その能力を、地域活動に生かしていただきたいと思います。多世代の知恵や能力が集まれば、地域のまちづくりはもっと盛んになります。他の地域との情報交換や研修を行って他の地域を知ることも、地域のまちづくりには大変効果があることです。

【市長】

地域には人材が大変豊富で、特技や技能を持った方がたくさんいます。自治会の役員を担っていただくことや人材バンクに登録していただき、その能力を地域の活動に生かしていただくことは地域の発展につながります。そのような方が地域の活動に取り組んでいただくためには、自分の能力を生かした活動によって地域が良くなることにやりがいを感じていただけることが必要です。

【参加者】

市役所の福祉の担当と社会福祉協議会には、重複している業務があります。お互い連携を取り合い、効率の良い平塚市の福祉の体制を構築してほしいです。

また、地域の福祉活動には拠点が必要です。その拠点として一番適するところは公民館だと思います。町内福祉村なども含めた公民館の複合施設化は、大変良い考えだと思います。

【市長】

市役所の担当課が福祉に関わる大きな計画を立て、社会福祉協議会に具体的な活動をしていただいています。お互いの住み分けを、はっきりしていきたいと考えます。不都合なことや同じような内容が地区社協に下りていかないように気をつけます。

また、地域の活動を集約する複合施設の御意見をいただきました。平塚市は全国でも珍しく、小学校区に1館ずつ公民館があります。地元の方に館長を担っていただき、公的な主事を配置し、地域の皆様の社会教育や活動の拠点になっています。しかし、これからは教育だけでなく、様々な活動の拠点となってほしいと考えています。公民館のまちづくりセンター化の計画を徐々に進めています。その中で、ホームページを運営して地域の良いものを発信するちいき

情報局の開設や、福祉に関わる活動を発信する拠点を含む複合施設も考えていきます。これからの公民館は、市が応援をさせていただきながら、地域の活動を集約して地域の皆様が主役のまちづくりを行える施設になるよう計画しています。建て替えを行う公民館には、様々な機能を入れ込んでいく予定です。

公民館のまちづくりセンター化と同様に、目指していることがあります。今、青少年指導や社会福祉、体育振興、民生委員などの縦割りにして地域にお渡ししている予算があります。この予算を全27地区自治会連合会単位にまとめてお出しさせていただき、その使い方を地域の責任で決めていただく体制づくりを考えています。この将来的な構想である地域内分権は、地域のまちづくりの理想の姿であると考えます。

7 市長によるまとめ

今日是对話を通して、皆様がこの金田地区を愛し、もっと良い地域にしたいというお気持ちがとても伝わりました。その思いと取り組みに感謝いたします。本当にありがとうございます。そして、これからも金田地区発展のために、これまでと同様の意識を持って地域の活動に御尽力いただきたいと思います。よろしく願いいたします。

厳しい経済状況の中ですが、市民の皆様の不都合や危険がないよう、道路や橋などの改修は計画的に進めさせていただきます。市民の皆様が主役でなければ、まちづくりは成り立ちません。市民の皆様が主役のまちづくりを進めることが、我々行政の役目です。

明確な回答ができなかったことは、担当課に確認し、改めてフィードバックさせていただきます。大変有意義な対話集会を行わせていただきました。本日は本当にありがとうございました。

アンケート結果報告

【回答数 24件（参加者 18件 傍聴者 6件）】

参加者・傍聴者について

年齢

20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明
0名	0名	0名	0名	11名	12名	1名

性別

男性	16名
女性	3名
回答なし	5名

質問1 今回の「ほっとミーティング」の開催はどこでお知りになりましたか。

回答

	参加者	傍聴者	計
広報ひらつか	9名	1名	10名
ポスターやチラシ	0名	0名	0名
町内会など地域から	8名	4名	12名
市ホームページ	0名	1名	1名
その他	1名	0名	1名
回答なし	0名	0名	0名

質問2 市長との対話はいかがでしたか。

回答

	参加者	傍聴者	計
よかった	12名	5名	17名
まあよかった	6名	1名	7名
どちらともいえない	0名	0名	0名
あまりよくなかった	0名	0名	0名
よくなかった	0名	0名	0名
回答なし	0名	0名	0名

質問3 質問2であまりよくなかった、よくなかったと答えた方について、市長との対話でよくなかった点はどのような点ですか。

回答 ・なし

質問4 御自身の考えや思いは伝わりましたか。(参加者対象)

回答

伝わった	8名
まあ伝わった	7名
どちらともいえない	1名
あまり伝わらなかった	0名
伝わらなかった	1名
回答なし	1名

質問5 質問4であまり伝わらなかった、伝わらなかったと答えた方について、御自身の考えや思いについて、伝わらなかった点はどのような点ですか。(参加者対象)

回答 ・なし

質問6 対話集会について、御感想や運営への御提案はありますか。

回答

- ・市長に意見を伝えられる機会は貴重です。
- ・とても良い対話集会でした。
- ・初めて参加しましたが、とても分かりやすかったです。
- ・今後の市政に期待しています。
- ・司会者が参加者全員に意見する機会を与えてくれて良かった。
- ・司会のおかげで、大変良い集会になりました。
- ・市長から直接意見を聞くことができる有意義な集会でした。
- ・要望と回答だけの会議になってしまった気がします。
- ・市長の誠実な対応に好感を持ちました。
- ・テーマを絞ってほしい。
- ・時間が短かった。
- ・地域に顔を出してくれることに感謝します。
- ・大変感動し、まちづくりを考えていきたいと思いました。
- ・とても参考になりました。